

今年も農地パトロールが始まります

地域の農地利用の確認、遊休農地の実態把握を目的とした農地パトロール(利用状況調査)を7月から10月にかけて行います。

パトロールのポイントは

- 1 違反転用(農地が農地以外の用途に使用されている場合)の早期発見
- 2 遊休農地(1年以上耕作や草払いなどの農地の保全がなされていない農地)の把握

パトロールの結果、遊休農地と判断された農地の所有者へ「利用意向調査」を送付します。

また、遊休農地が荒廃し、木や竹が生い茂り、非農地(農地に戻すことが困難)と判断された場合には、「非農地通知書」を農地所有者へ送付します。決定に支障がなければ職権での一括地目変更登記を申請します。



農業者年金は今のあなたと老後のあなたを応援します

【受給者の声】中原校区：66歳

年金を納めていた時は苦勞に感じた

だけど…

受給する立場になると国民年金に上乗せで心強いわ

しかも受給額は減らないし、終身なの

こんなに良いこと、周りに教えなくちゃ！

《年金加入のメリット》

- ・ 社会保険料控除の対象 → **節税!!**(所得税・住民税)
同一生計分も支払った分も控除対象
- ・ 35歳未満で一定の要件を満たせば1万円からでも加入可能
- ・ 受給時も公的年金等控除の対象(110万まで全額控除)
- ・ 国民年金付加年金保険料月400円を納付した
⇒ 200円×付加年金納付月数 = **年金に上乗せ**



《加入要件》

※詳しくは農業委員会かJ Aまでご相談ください。

- ① 年間60日以上農業従事(自分名義の農地がなくてもOK)
- ② 国民年金第1号被保険者
- ③ 20歳以上60歳未満(但し、国民年金納付期間が480月に満たない60歳以上65歳未満の方で国民年金に任意加入している方もOK)

「農業経営意向に関する調査」アンケート実施中です

地域の目指すべき将来の農地利用の姿を明確化するための「地域計画」を策定するために農地所有者の方の意向調査を実施しています。準備が整った校区から4月から順次、アンケートを郵送しています。

内容は以下の3種類です。同封の返信用封筒をご利用ください。

- ① 個人情報の取扱い同意書(白色紙)
- ② 農業経営意向に関する調査票(黄色紙)
- ③ 農地の移行に関する調査票(ピンク紙)

ご協力をお願いします。

問い合わせ先：人吉市農業委員会事務局 ☎ 0966-22-2111 (内線2500・2503) FAX 0966-24-7869
E-mail: nougyou-iinkai@hitoyoshi.kumamoto.jp http://www.city.hitoyoshi.lg.jp

ひとよし 農業委員会だより

令和6年度 第1号

発行：人吉市農業委員会

編集：農政部会

令和6年7月11日発行



下原田町にお住まいの大無田夏輝さんは25歳。ズッキーニとカボチャを中心に約124aを経営されています。上原田町の圃場ではズッキーニの黄色の美しい花が満開です。4月上旬から収穫は始まりますが、1日2回、朝は夜が明けると同時に収穫をし、夜遅くまでは箱詰め作業に没頭し、翌朝、J Aへ出荷しています。

両親が球磨村で牛を飼育していたので子どもの頃から手伝いをしていたせいか、「就農への抵抗はなかった」とのこと。J Aからの勧めもあり、ズッキーニ栽培を始めました。知人からハウスを安価で譲ってもらい、今年からハウス栽培も始めました。今後は“若さとやる気”を武器に、中間管理事業を利用して規模拡大を目指しますと目を輝かせて語ってくれました。

(取材・写真：牛塚敬一郎)

- 【目次】
- 表紙写真(下原田町 大無田夏輝さんのズッキーニ)……………P 1
 - 私たち“農業”大好きです(元田貴也さん・上田麻由子さん・宮坂進一さん・仲村建彦さん・椎葉徹さん) ……P 2
 - 大畑地区での話し合い/農業振興部会報告/全国農業新聞を購読しませんか……………P 3
 - 農地パトロールが始まります/農業者年金について/農業経営意向調査実施中……………P 4

私たち“農業”大好きです

新規就農・継承してコツコツ頑張っている農業者をご紹介します

元田 貴也 さん(31) 田野町

作付品種：キク5a・ヒバ2ha

就農して10年。自分で作って成果が見えることがやりにいにつながる。

秋の繁忙期、親子3人で頑張ります。



丁寧に
長めにカット

自宅裏のハウス

上田麻由子 さん(46) **宮坂 進一** さん(54) 西間下町

作付品種：ミシマサイコ80a 目標：2ha経営

コロナの時に飲食業から転身。

除草は大変だけどミシマサイコ

一本で頑張りたい。



作業は
笑顔ですと
はかどります

相良村の圃場



菟野町の圃場

帽子は
必須アイテム

椎葉 徹 さん(71) 菟野町

作付品種：甘長トウガラシ7a・ニンニク10a・栗

本格的に就農して3年、夫婦で悪戦苦闘中です。夏場の草払いは苦労します。

仲村 建彦 さん(48) 願成寺町

作付品種：キクラゲ36a・ウメ 目標：3,000菌床

就農時からキクラゲ中心。ハウス2棟中、1棟は知人から譲り受けました。



スプリンクラーが
ついて快適

大畑地区座談会 農業「現在・過去・未来」を語ろう

大畑地区農業委員の呼びかけで“農業「現在・過去・未来」”と銘打った座談会が4月21日18時から下田代町公民館において、開催されました。

農業の行く先に不安を感じながらもコロナウイルス感染症感染を考慮して、地域で集って話し合う機会もなかったこの数年。酒を酌み交わしながら気楽に話し合える場には錦町大正地区の農業者も含め32人が参加しました。

農家の高齢化、後継者問題、遊休農地の増加、鳥獣被害等、農家の悩みは多岐にわたり、一朝一夕には解決できませんが、膝を突き合わせて心の内を語ることで、胸のうちのもやもやが軽くなり、解決の糸口が掴めればとの思いが参加者にありました。

田んぼダムや飼料作の収穫等について話題に上りましたが、これから進められる基盤整備については関心が強く寄せられました。また、集落営農の進め方や法人化を目指した活動についても農業委員会の上野会長から経験談も披露されました。

酒が進むにつれ、笑い声も多くなり、意見交換ができてよかったとの声が聞かれました。



「全国農業新聞」を購読しませんか

農業者の目線に立った記事内容は、仲間づくり、六次産業化へのヒント等、一般紙とは違った情報が得られます。毎週金曜日発行で、ゆっくり目を通して読むことができます。

購読料：月700円(JAの口座からの引き落としOK)

電子版：毎週金曜日午前0時配信 月500円

(クレジットカード払いのみの支払)

地元の農業委員または農業委員会までお問い合わせください。

全国農業新聞
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

農業振興部会報告

6月13日、中原小学校では、4年生50数名による田植えが行われ、農業委員会からは永田委員と西門委員が参加しました。

初めは水が張ってあるぬかるんだ田に恐る恐る足を踏み入っていた児童も、苗を手にとると綱に沿うように丁寧に植えていきました。

6月21日には学校でふ化させたアイガモを放鳥し、夏休みは児童がアイガモの世話をしますが、畔の草払い等の管理は人吉市有機農業推進協議会の方にお世話になります。

食と農の絆を深める取り組みはこれからも継承していきたいです。

